

様式3 個別の教育支援計画(実態—支援目標—支援内容—評価)

ポイント：今後の指導につなげるための情報として、必要なことをできるだけ具体的に書く。

氏名()

記入者	就学前	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
-----	-----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

項目	実態 本人・保護者のニーズ	支援目標 (期間)	合理的配慮	支援内容	評価
	【就学前】	【平成 年 月～平成 年 月】			
	【小1】	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じてその都度更新する。 ・「できないこと」だけでなく、「できていること」や「できる状況（どうすればできるか）」も記入する。 ・考えられ得る要因も記入する。 	<p><記入するとよい内容></p> <p>※本人・保護者と合意形成を図った項目において、具体的な内容を記入する。</p>	<p><記入するとよい内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全面の配慮 ・苦手な支援すること ・うまく取り組める環境設定や働きかけ ・不安定になった時に切り替えるための対応 <p>※いつ、だれが、どこで（どの場面で）、どのように支援をするかを具体的に記入する。</p>	
	【小2】				
	・				
	・				
	【中1】				
	・	<ul style="list-style-type: none"> ・対象幼児児童生徒の実態や支援内容がより具体的にイメージできるよう、項目を精選して設定する。 ・必要な項目に絞って書く。（特に共通理解して支援することが必要であると考えられること） <p><項目の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康・安全に関すること ・身辺処理に関すること ・心理的安定に関すること ・人間関係の形成に関すること ・コミュニケーションに関すること ・体の動きに関すること ・認知・行動・感覚の特性に関すること 			
	・				
	・				
	・				
	・				

<p>[進路に関する希望]</p> <p>< 年時></p> <p>< 年時></p>
